



ときわ台小学校

学校便り

令和6年1月号
ときわ台小学校
校長 下川 太郎

学校教育目標

未来を切り拓く「生きる力」を身につけた「ときわっ子」の育成

目指す児童像

かしこく やさしく たくましく

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



右の写真は、昨年12月21日に撮影したものです。天気予報で雪の予報が出て、ときわ台小学校の周りにもたくさんの雪が積もりました。予定では、翌日の22日が終業式でしたが、雪のために休校も考えられたため、21日の午後から前倒しで終業式を行いました。

その終業式を行っている13時頃、雪が降っている中でしたが、お正月を迎えるに当たって、子供たちのために門松を地域の方々、PTA役員の方々に作っていただきました。

まさか、あの雪の日に、門松ができあがっているなんて。下校の時に門松を見た子供達はびっくりするとともに、大喜びでした。

門松づくりをしてくださった、地域の戸田 忍様、峯 英樹様、森 浩三様、本校PTA会長 井上拓哉様、PTA副会長 相川泰行様、本当に有難うございます。

地域の皆様、保護者の皆様のお力を借りながら、子供たちの心が豊かに育つ環境を作ることができることに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。

新しい年2024年も、地域の皆様、保護者の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



石川県能登半島地震

1月9日の始業式の校長の話では、最初に1月1日に起こった石川県能登半島での地震の話をしました。犠牲になられた方の安らかなお眠りをお祈りするとともに、1日もはやい復興を願うばかりです。

そして、普段通りに3学期の始業式を迎えられることを本当に幸せなことだと思っています。

本校では、この冬休み大きな事件事故はありませんでした。子供たちが元気に登校し下校していくという当たり前の生活のありがたさを噛みしめながら、3学期を過ごしていきたいと思ひます。

大谷選手からグローブが届きました

12月25日に、野球の大リーグの大谷翔平選手から野球グローブが届きました。

報道でご存じの方も多いと思いますが、日本の全部の小学校に3つずつ送られるグローブが本校にも届いたということです。

早速、始業式に子供達へ実物のグローブを見せながら紹介をしました。そして、大谷翔平選手からの手紙も入っていたので、読み上げました。

子供達は、興味津々でグローブを見たり、手紙の内容を聞いたりしていました。

保護者の皆様には、テトル（連絡配信アプリ）にて、お知らせしたとおり、1月11日～19日を「見て見てタイム」（学年ごとに見たり触ったりする期間）1月22日～3月5日を「やってやってタイム」（学年ごとに実際に使ってみる期間）に設定して、子供達にグローブを見たり触ったりしてほしいと思っています。

日本全国には約2万校の小学校があるそうです。それぞれの学校に3つのグローブを贈呈すると合計6万個になります。大谷選手の思いに感謝するばかりです。



【大谷選手から贈呈されたグローブ】



【校長室の横に飾っています】

新しい学年に向けての準備を



【校庭の桜の花芽】

始業式の校長の話の三つ目は、3学期の過ごし方についてです。

これまででも、子供達に話をしてきましたが、今回も3つの言葉を伝えました。

それは、①「優しさ」②「感謝」③「きりかえ」です。3学期も、

- ① 友達に優しくする。
- ② お家の人や地域の方、先生方に感謝の気持ちをもつ。
- ③ 生活の中で、心のスイッチを切り替える。

ことを、ときわ台小学校の皆の目標にしてほしいと話しました。

それから、桜の花芽（はなめ）の話もしました。

4月になると、桜は満開になり、進級する皆さんを迎えてくれます。

桜は、花がちってから少したつと、すぐに次の年に花を咲かせる準備をするそうです。

皆さんがプールに入る7月ごろには「花芽」（はなめ）（かが）という花の赤ちゃんがもうできているのです。

でも、すぐには、花を咲かせません。寒い冬に花が咲かないように、長いお休みの期間に入るのです。暑い夏から秋にかけて、桜は眠っているのです。

では、桜は、いつ目覚めるのでしょうか。それは、冬の寒い空気にさらされると少しずつ眠りからさめるのだそうです。

桜にとって、この寒い冬は花を咲かせる準備を始める大切な時期です。

寒い3学期ですが、ときわ台小学校の皆さんも、桜と同じように準備のスイッチをONにしましょう。そして、4月には桜が満開になるように、新しい学年に向けての準備をしていきましょう。

と呼びかけました。

今年度の学年のまとめをするとともに、次年度の学年の準備をする3学期にしていきたいと思っています。

